

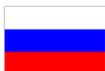


【韓国】 総合指数は週間で0.8%高と反発、今週も新型コロナ拡大などが懸念材料

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で0.8%高と反発した。週明け6月29日は前週末の米株市場の大幅下落が嫌気され、前営業日比1.9%安と大きく反落。新型コロナウイルスの感染再拡大への警戒感が相場の重しとなったが、30日は米国の5月中古住宅販売契約指数や中国の6月製造業PMIなど好調な経済指標を受けて反発。7月1日は米株高を受けて高く始まったが、香港国家安全維持法を巡り香港で初の逮捕者が出たと伝わり、米中関係の悪化懸念で反落した。週後半は堅調な値動き。米国の6月ISM製造業景況指数の好転や雇用統計の改善などを受けて景気回復期待が高まり、リスク選好姿勢が強まった。今週も米国株の動きに左右される展開か。新型コロナの感染状況や香港を巡る米中関係の悪化などが引き続き懸念材料となりそうだ。

▼指数チャート



【ロシア】 RTS 指数は週間で0.9%安と続落、今週は原油相場をにらんだ展開か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で0.9%安と続落。欧米株高や原油高が指数を支える中、資源株の下落やルーブル安などが重しとなった。先週は1日が祝日で4日間の取引。週前半はMMCノリリスクニッケルやタトネフチ、ノバテクなどの資源・エネルギー株が売られ、指数は続落。休場明けの2日は欧米株高や原油高を受けて指数は前日比2.9%高と反発し、前週末の水準を回復した。ただ、3日は原油相場が上昇したものの、ドルに対するルーブル安などが重しとなり、指数は反落している。個別では、ポリメタル・インターナショナルが4.5%高、ポリュスが4.1%高と産金株が好調で、金融のズベルバンク・オブ・ロシアが3.4%高。一方、資源のMMCノリリスクニッケルが3.4%下落した。今週は原油相場や欧米株価をにらんだ展開か。

▼指数チャート



【ベトナム】 ベトナム指数は0.5%安と続落、今週は米国株の動向に左右される展開か

開か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で0.5%安と続落。経済成長率の急減速や米国などでの新型コロナ感染拡大が重しとなったが、製造業PMIの改善や金融機関の利下げが下値を支えた。指数は、週明けに前週末比2.7%安と大幅に続落。ベトナムの20年上期のGDP成長率が1.81%と10年ぶり、4-6月期が0.36%と30年ぶりの低い水準に落ち込んだほか、米国などでの新型コロナの感染再拡大が嫌気された。1日は6月の製造業PMIが51.1と5月の42.7から改善する中、主要銀行が預金金利を大きく引き下げることが好感され、指数は前日比2.2%高と反発した。3日は0.6%高で、週の下げ幅を縮めている。個別では飲料、不動産株が大きく上昇した一方、金融、エネルギー株が下落した。今週はコロナ感染拡大が続く米国株などをにらんだ展開か。

▼指数チャート



【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.4%高、CPI 上昇率の低下で追加利下げに期待感

ジャカルタ総合指数は週間で 1.4%高と反発。6 月月間では 3.2%高。先週は週初に小幅反落したが、その後はじりじりと上値を広げ堅調だった。29 日は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が嫌気されて下落したものの、30 日は中国の 6 月の公式製造業 PMI が市場予想から上振れた効果で反発。1 日は 6 月の CPI 上昇率が前年同月比 2.0%と 20 年ぶりの低い伸びとなり、追加利下げに対する期待感が高まったことを受けて続伸した。週後半は終始 4900 ポイント台で推移し、3 日まで 4 日続伸して引けている。今週は 10 日に 5 月の小売売上高が発表される予定。好地合いが続けば、節目の 5000 ポイントを試す展開か。

▼指数チャート



【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 1.9%高、香港国家安全維持法の施行で中国関連株に買い

ストレーツタイムズ指数は週間で 1.9%高と 4 週ぶりに反発。6 月月間では 3.2%高。先週は週初の下落分をその後の上昇で補った。29 日は新型コロナウイルスの感染第 2 波に対する警戒感から売られ、指数は前営業日比 1.2%安と反落。ただ、30 日に反発すると、1 日は中国の 6 月の財新製造業 PMI が 51.2 と前月の水準を上回ったことが好感されて続伸した。2 日は前日に香港国家安全維持法が施行され、中国とつながりの強い不動産株と銀行株が指数上昇をけん引。3 日は 5 月の小売売上高が前年同月比 52.1%減と低迷したものの影響は小さく、4 日続伸して引けた。今週は 10 日が総選挙の投開票日のため休場となる。

▼指数チャート



【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 3.2%高、政府が中小企業支援の基金設立を計画

SET 指数は週間で 3.2%高と 4 週ぶりに反発。6 月月間では 0.3%安。先週はおおむね堅調な値動きだった。週初の 29 日は、5 月の鉱工業生産が前年同月比 23.2%減と 11 年 11 月以来の落ち込みとなった影響で小幅に反落。一方、30 日は政府が前日に中小企業支援策として 16 億 2000 万米ドル規模の基金を設置する計画を明らかにした効果で反発した。2 日は米国とドイツの企業が共同開発する新型コロナウイルスワクチンの初期の治験結果が良好だったことが買い材料となり、指数は前日比 1.8%高と 3 日続伸したが、3 日は小幅に反落して引けている。今週は 6 日がアサハラブーチャ（三宝祭り）の祝日で休場。

▼指数チャート



【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 4.3%高、今週は中央銀行が金融政策決定会合を開催

クアラルンプール総合指数は週間で 4.3%高と 4 週ぶりに反発。6 月月間では 1.9%高。先週は週初から 5 日続伸と堅調だった。29 日は新型コロナウイルスの感染拡大を受けてゴム手袋メーカーを含む医療関連株が買われ、指数は 5 営業日ぶりに反発。30 日に終値で 4 日ぶりに 1500 ポイントを超えると、1 日は 6 月のマークイット製造業 PMI が 51.0 と前月の水準を上回ったことが好感された。週後半は終始 1500 ポイント台での取引となり、3 日には終値で約 3 週間ぶりの高値を更新して引けている。今週は 7 日に中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催するほか、10 日には 5 月の鉱工業生産が発表される予定。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。